

庁舎再編整備特別委員会会議録

1 審査事件

(1) 議案第94号 魚沼市役所の位置を定める条例の制定について

2 調査事件

(2) その他

3 日 時 平成27年12月15日 午後1時30分

4 場 所 広神庁舎3階 議場

5 出席委員 大平恭児、富永三千敏、岩井富士夫、志田 貢、佐藤敏雄、岡部計夫、
大平栄治、遠藤徳一、渡辺一美、佐藤 肇、関矢孝夫、星野武男、
高野甲子雄、星 吉寛、下村浩延、本田 篤、森島守人、大屋角政、
森山英敏、(浅井守雄)

6 欠席委員 なし

7 説明員 大平市長、小幡副市長、酒井企画政策課長、桜井土木課長、
森山企画政策室長

8 書 記 小幡議会事務局長、中川主任

9 経 過

開 会 (13:30)

星委員長 定足数に達しておりますので、ただいまから庁舎再編整備特別委員会を再開します。日程第1に入る前に、市長から発言を求められていますので、これを許可します。

大平市長 それでは、お時間をいただいて少しお話しさせていただきます。12月13日に福祉センターにて行われました庁舎再編計画の建設位置についての説明会の報告をする前に若干時間いただき、考え方を述べさせていただきたいと思います。庁舎建設については、繰り返しになりますけれども、合併調整項目で「10年以内に適地に建設」としていたところ、7年前の市長選において、庁舎は建設しないと私の主張に多くの方から賛同を得たものであったと思います。しかしながら、就任以来、分庁舎方式による行政事務のあり方を肌で感じた中で、非効率極まりなく市民の利便性に寄与していないことから、一本化の必要性を痛切に感じ、湯之谷庁舎一本化に向け、議会に2年間に渡り2回提案させていただき、理解を求めてまいりました。しかしながら、非常に残念でありましたが一本化への道が叶わなかったわけでございます。当時は、商工会からの建設推進の要望書を採択した

ほか、共産党議員からは地方自治法第4条第2項に基づき進めるべきとし、湯之谷庁舎一本化への反対意見を頂いていることはご承知のとおりであります。その間、市民の暮らしに直結する課題として、新小出病院、消防庁舎、すもんこども園、斎場、井口小学校と老朽施設への対応を進めてまいりました。いずれも、魚沼市が持続していくための将来を見据えた重要な事業でありました。また、財政の健全化を図るべき人件費の削減や公共施設の整理、起債の繰り上げ償還、借り換えなどを行ってきた結果、将来負担比率などの財政指標も改善してまいりました。このような中、平成25年4月16日の庁舎再編整備調査特別委員会、このとき委員長は関矢孝夫議員でしたが、その報告書では、「将来に渡って考えるとき、効率的な行政運営、住民サービスのあり方、職員の定数削減などを踏まえ、引き続き庁舎の一本化と既存庁舎の有効利用は避けて通れない重要な課題である。このため、広大な行政区における市民の利便性、行政効率化が図れる庁舎整備については、総合的なまちづくりの観点や合併特例債の延長、新庁舎建設基金の活用も視野に入れ新庁舎の方向性を含めて検討していく必要がある。」との報告がありました。これを尊重するとともに、交付税の通減への対応としての公共施設のあり方や新潟・福島豪雨災害時の情報管理と職員対応の困難性、また、都市計画マスタープランで示すコンパクトなまちづくりを鑑み、加えて、合併特例債の延長による財源手当てを最終的なチャンスと考え、将来を見据え新庁舎建設の方向に舵を切りました。その考え方は、基本構想で示したとおりであります。全ては、市民のためであると断言しておきたいと思えます。市民には、庁舎再編基本構想及び基本計画の市民説明会やコミュニティ協議会等との懇談を通じ説明をし、理解をいただいていたものと考えています。また、議会における庁舎再編整備特別委員会は、平成25年7月に現在の特別委員会に衣替えしてから、小委員会を除き32回議論を重ねており、課題も払拭されてきたものと感じております。特別委員会の結論として、新庁舎を建設する方向性と最終的な位置については、多くの議員の賛同を得ておるものと認識しております。さて、12月13日に行われました庁舎再編基本計画案での最終位置の絞り込みの説明会では、別紙配布のとおりの内容となっております。庁舎位置に関するご質問もありましたが、手続論や後年度の財政負担等を心配する意見をちょうだいしております。また、ぶれずに自信をもって進めるべきとの力強いご意見もいただいたところであります。時間がない中での要点筆記であります。詳細はご覧いただければと思います。この後、事務所の位置に関しての市民へのさらなる説明などは想定しづらく、また、本委員会での議論も出尽くした感がしております。結論を先延ばしすることは、逆に市民に不信感を募られることとなるのではないかと危惧しています。議員の皆様から賢明なご判断をいただきますよう切にお願い申し上げます。

星委員長　本件については以上といたします。

それでは、前回12月11日に引き続き、本委員会に付託されました議案について審査願います。

(1) 議案第94号　魚沼市役所の位置を定める条例の制定について

星委員長　日程第1、議案第94号　魚沼市役所の位置を定める条例の制定についてを議題とします。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

富永委員　　今ほど市長の考え方が報告されました。それで、もう一度確認させてもらいたいですけども、13日の市民説明会においては、非常に多くの質問が出されましたし、時間は少しは延長したようでしたけども、何人かまだ質問されたい方がいたような気がします。にもかかわらず、そこで時間を打ち切ったんですけども、もう一度説明会をするかどうか。今ほどの話ではもうないようなこと言われてましたけども、そこ一点確認させてください。

大平市長　　この度の最終的な庁舎の位置ということでの説明会は、もうこれで終わりとさせていただきたいと思います。

富永委員　　そうしますと、市長の考えとしては、現在、提出されている条例を本議会で決定をしたいということで、さらなる議論をするという考えはないわけですか。

大平市長　　今定例会に提案させていただきましたとおり、本議会で最終日、皆さんに採決いただきたいと考えています。

遠藤委員　　これまで本委員会のおきましても30数回、会を重ね、また、全協でも3回ほど重ね、さらには議会報告会、市民の意見を聞く会、委員会としての作業はかなり積み上げてきたものがあるかと思います。そういった積み上げの中ではありませんけども、委員会としては建設に向かう方向性と、執行部が提案してきた位置でおおむねよしというような方向性で意思が確認されておるという段階であります。あとは、定例会に提案になっております位置の条例に真剣に向き合い、そこをまず議会議員として責任を持って決定をしてから、これまでの市民説明会等でいただいた市民の声をいかに払拭するための努力をしていくか。また、予算等についても、不安な声があるわけですので、そういったことを議論していく、ステップに踏み上がっていくか。それとも位置は一旦先送りし、もう少し市の構想等聞かせてもらって、それを真剣に議論した中で最終的には位置を決めたいという議論、どちらかが先かという議論になっているものと私は思っています。廃案という意見につきましては、この委員会では意思決定をされておられませんので、これはないものだとは思っております。そんな中でありますが、3点ほど執行部に確認させていただきます。市民が一番不安に思っている部分であります。予算としましては47億とも、50億以上とも言われてるわけですが、その高額さに市民が不安視しているわけです。工事額等については、まだ想定事業費で未定という答弁ではありますが、これからの議論の中では、その示した事業費にこだわることなく、最少に抑えながらも最大な効果が得られるような庁舎をつくっていく努力をしていくことで間違いはありませんか。

大平市長　　議員のおっしゃるように今は確定ではありませんし、数字としては不確定なところはありますが、今後の建設に向けて私どもも過度な費用を必要とするような方向にはいかないよう努力させていただきたいと思います。

遠藤委員　　2点目であります。これからの魚沼市に必要な夢あるまちづくり等が示されていないということで、これまた市民の不安、不満な声があるわけですが、庁舎の位置が決定されれば、その位置を機軸としたマスタープランへの落とし込みや、市民や団体等交えながら話し合いの場を持ち、市民の声を反映させていくと以前答弁がありましたが、庁舎のあり方、まちづくりをしていく上での議論というのは、今後市民を交えた中で議論の場をつくって、それを反映させていくという取り組みがあるのか、ないのか。

大平市長　　庁舎を核とした今後の考え方については、市民の皆さんの意見を反映できるような組織を立ち上げるとか、それは今後の課題になりますが、議員のおっしゃるように今後

はそうした取り組みに進めさせていただきたいと思います。

遠藤委員 3点目になりますが、これも市民サービスがはかられなくなるのではないかと。魚沼市の地形では利便性の向上というのは、なかなか難しいのではないかとという声もあるわけですが、今後、病院や商業施設がある位置、集積地に庁舎を構えるということでは、その利便性や市民のサービス向上が、当然のようにはかられるような取り組みですとか、仕組みづくりに今後取り組んでいくわけですが、その点につきましても、幸福度が上がることを目指しながら市民の声を反映させたまちづくり、市庁舎建設のあり方を審議していくのか。

大平市長 そのことにつきましては、今後、反映させていくという考えですし、今、まだ決まってはおりませんが、私どもが示した位置については病院があり、公共施設が集中しているところでもあります。そういった市民の利便性を考えたときは、最も場所としては有効ではないかと考えています。

岩井委員 12月13日の午後からの市民の会合の内容は聞いてますか。

大平市長 会合があったということは聞いておりますが、内容についてはわかりません。

岩井委員 何で聞かないんですか。市民の声を聞くということはあなたの姿勢でしょ。市長の姿勢じゃないですか。

大平市長 市民の声というのはさまざまな声があります。私はその午前中に市民説明会をしておりますので、そこで市民の声は聞いております。

岩井委員 そうすると午後の会合の声は、市民の声じゃないということですね。

大平市長 午後の会合が市民の声でないとか、そういうことではないと思います。私は午後の会合を開いた方々も市民ですので、当然それは今後もう少し具体化した中で調査していきたいとは思いますが、13日は聞けなかったもので、それについてはなんとも言えない状況であります。

岩井委員 私は、実は参加しなかったんですけども、非常に気になって午前中の説明会、それから午後の市民の会合も細かく伺っております。中にはテープにとって私に届けてくれた人もいます。その内容を聞くと、午後の会合は第一期目の市長選で全部市長を応援した人たちが多くいますよ。なぜ、そういった人たちが今どういう立場にいるか。その中で、ある婦人が市長を推したことによって本当に仕事を投げ打って、一生懸命あなたを一期目は推したと。ところが、こんなにかわってしまった市長を見て、まわりの推した人たちが本当に文句を言ってくると、うそつきだと、こういう声がある婦人がその会合で言っていたそうです。私が言いたいのは、やはりきちんとした丁寧な説明をそういった人たちにして、今まできたのであれば私は納得する部分もあると思いますけれども、そういったことをきちんとはやらずにきた結果が、今の事態に陥っていると思いますので、その点市長はどう考えるかお聞かせください。

大平市長 私としては、先ほど冒頭に今までの経緯について説明させていただきました。その内容についてご理解いただけないのは、非常に残念ではありますが、私は何回も申し上げますが、既存の庁舎に一本化するために一期目で提案してるわけです。結果的に叶わなかったわけですが、その後行政のいろんな運営の中で一本化ができないことの不便さ、非効率さ、こういったものを感じて今、舵を切りなおしたという話をさせていただきました。何回も岩井議員からもそういう話を伺いますが、私の考え方はこうだという話ししかでき

ません。その中で、これからの魚沼市の庁舎を検討していただきたいと思います。

岡部委員 12月13日、日曜日10時から福祉センターでやった報告書があるわけですが、今ほど市長の考えからいくと、もう今後、説明会はしないというようなことですが、たった1回の位置の説明会、これで、市長は市民に十分説明して理解が得られたと、13日を振り返って考えてるんですか。

大平市長 理解を得られたかどうかは13日の中ではわかりません。ただ、いただいた質問に対して市の考え方を説明させていただきました。最終的にはこの議会の場で決定されるものと思っています。

岡部委員 13日、11時半くらいの時間の中で30分延長して12時までやったわけですが、先ほど委員の中からもありましたように、まだ意見を、質問をしたいと言うにもかかわらず、時間がないからと打ち切ったわけですね。そういう中で、我々議会の中では十分議論したということですが、市民にそれが届いてないというあらわれだと思うんですよ。ですから、そういう中でもう少しどういうふうにするのか、それで今議会に要望書が出てきてるわけです。執行部がやらないんで、議会に対してもう一度市民に対して説明をしてほしいと、こういう要望が出てるんで、委員長、これからいろんな質疑もいいんですけど、この要望書の取扱い、議会としてこれからそういうふうにしていくんだかということを議論していただきたい。

星委員長 議第外でありますので、その他で行います。

大平市長 岡部委員に対してお答えします。時間が限られた中での説明会でしたが、最後のあいさつの中で、副市長から今後それぞれ質問がありましたら、市役所へ申し出て下さいという話をさせていただきました。その後、数件あります。私も対応させていただきます。そうした疑問があれば、いつでもお受けしますし、あの場だけで全て完結するわけではありませんから、私も市民の皆さんから来て説明してほしいと言われれば、そこに参ります。そういったことで、市民説明という形にさせていただければと思っています。

岡部委員 市長がそう思ってるのであれば、どこかで説明会を開くなり、そういうふうにしていただきたいと思うんですけど、12月21日に議決することが決まってるわけですね。きょう入れても一週間くらいしかないわけです。その中に日曜日も入りますし、そういう中でその思いがあると言っても、それを実行しなければ市民に理解されないんじゃないですか。ですから、その機会をもう少しきちんととるぐらいの進め方をしていただきたいと思うんですが、いかがでしょうか。

大平市長 13日の説明会のようなものは行わないとしておりますけども、議決の日までに時間がないという話がありましたが、それは議員の皆さんと私の提案したものをどう扱うかという話でありますので、それは少し違うのではないかと思います。

高野委員 きょうの委員会は、第94号議案北部公民館周辺に位置を決めていいかどうかという提案、決めるのは議会だと私は理解をしております。したがって、この間、特別委員会を三十数回やってきております。その中には長岡技術科学大学の中出副学長から都市計画の用途について、多摩住民自治研究所の大和田理事からは魚沼市の財政分析について、これらも含めて議会では十分、私は質疑、委員間討議をしてきたものと思っています。あくまでも、この議案については提案をされてますから、どう判断するかというのは議会の責任であります。さらに、出席の3分の2の議員が必要だということで議案が提出なって

からも、私は後援会や町内の組織の方に話をさせていただきました。したがって、議案になってる以上、私は議員の責任で市民の声を集め、それを議会に反映、自分で判断する。いいか、悪いか、位置の判断であります。3分の2ということでもありますので、大変責任は重いということで、私は住民の声を聞いたつもりであります。そこを踏まえて、しっかり意見なり質問をしていただきたいと思います。そんな中で賛成の声は市長に届いてますか。早く進めてくれ、大変非効率で不便で困るというような意見は届いていますか。

大平市長　多くの意見が届いております。ただ、公の会でやってるわけではありませんので、それをオープンにはできませんが、13日の説明会のあとも参加した人の中には、しっかりと進めてくれと帰り際に声をかけてくださった方もたくさんおりました。

富永委員　先ほどの質疑の中に今計画の50億という高額な予算はどうするのかとか、夢あるまちづくりについてどうするのか、それから、位置条例を決定してから市民の考えを反映させる組織をつくって進めるというふうな答弁がございましたが、そういった内容について今まで市民の皆さんが、いろんな場面で質疑をしてると思うんですけども、今、位置を決めないで、そういった作業をスタートするほうが先だと思うんですけどもいかがでしょうか。

大平市長　位置を決めて、それからその周辺の環境等を見ながら、まちづくり等の話が進むのではないのでしょうか。私はそう思っています。

富永委員　市長はそうおっしゃいますけども、市民の皆さんはその辺のところが明確でない、将来の姿が見えないからということで質問されてると考えますので、やはり、その辺のところはもう一度立ち返って、スタートするべきだと考えますがいかがでしょうか。

大平市長　私どもは委員会と議会の中で、位置と条例を提案させていただいております。ですから、それをもってこれからのまちづくりだとかをつくりあげていくことが大切ではないかと思います。交通網も場所が決まらない限り、再編はできないものと思っています。

富永委員　そうであるならば、その辺の議論というか、市民の皆さんだとかにそういったのをわかりやすく、もう少し説明会なりを開催するべきだと、自分は考えますがいかがでしょうか。

大平市長　質問の中に今後のまちづくりだとかどうするんだとありましたが、市民の皆さんと専門家を交えて今後検討していきたいという話は再三させていただいております。最終的には、議会での判断が必要ではないかと思います。

大平(栄)委員　位置と合併特例債は委員の90%が賛成してるわけですので、決めても、決めなくても、そういう確認してるわけだから、ここで別に条例決めたからどうのこうのじゃなくて、とにかく市長は去年の9月に発表したわけだから、そのとき自分の腹が決まってるわけだから、そのとききちんとしたメリット、デメリット出せばこんなことにならなかったわけです。だから、それがまだ出てないということで、いろいろと皆さんが心配してるから、しっかりその辺を出してもらって、つくることはつくるんだと。位置も、特例債も。だから、それまでにしっかり執行部から出してもらって、私たちはそれ納得してるんです。いるけども皆さんに説明するときに数字が出てこないから、なかなかうまく説明できないから、しっかり執行部でやっていただきたいと思います。

大平市長　今までの中でメリット、デメリット出しました。議会では当初、調査特別委員会
で調査をしていただいています。そういう中でメリット、デメリットは出てるはずで
す。今

は整備特別委員会ですけど、そういった経緯の中できちんと進んでおりますので、私はこのまま進めるべきだと思っています。

大平(栄)委員 出てると思ってるだけじゃダメです。出してもらわなくては。出てるならそれ説明してください。

星委員長 しばらくの間、休憩します。

休 憩 (14:03)

休憩中に懇談的に意見交換

再 開 (14:04)

星委員長 休憩を解き、会議を再開します。

小幡副市長 今ほどのメリット、デメリットの話ですが、今までの三十数回の委員会の中で、そういった議論を中心に行ってきたものだと思います。それが一覧表になってつくってあるわけではありませんので、ご理解いただきたいと思います。

大平(栄)委員 思いますじゃ困るんだが、だから、それを形にして出してもらわんと。議員はわかってるけども、それやっぱきちんとしなかったことがいろいろと時間延びたことになるし、このことによってもっと延びれば困るから、執行部できちんとわかるようにしていただきたい。見たらわかるようにしてください。

小幡副市長 そのために今まで基本構想の説明をさせていただいたり、基本計画の中で検討いただきました。それを踏まえてメリットと理解いただきたいと思います。デメリットはないものだと思います。

大平(栄)委員 思いますじゃなくて、じゃ、職員が何人くらい減るとか、だからそれをわかるように出してくださいよ。説明会のときにそれを言わないから、私たちはわかってても、住民がわからない状態だから問題があって、それも市長が9月に変わったときにしっかりとこういうわけだからかわったと言わねえから、この問題が長引いたんだと思います。それをしっかりと市長から数字を出したりしてください。

酒井企画政策課長 主な内容は小幡副市長が申し上げたとおりです。お金については9月16日のこの委員会におきまして、新築の場合と既存庁舎の場合での建設費含めた費用比較を説明してございます。新庁舎を建てて合併特例債を使った場合の費用と、既存庁舎を使った場合未来改修含め維持費含めると、だいぶ差がでるという資料を配布しておりますので、それが大きなメリットであると考えております。あと利便性等に関しては副市長が申し上げましたように、基本構想の段階から申し上げておりでございます。

大平(恭)委員 先ほど建設事業費47.2億円ということで一貫して示されてるわけですけども、この上限、どのくらいになるか。これからの議論で市民の意見を入れた場合に、どのくらいになるのか不透明だからお答えできないということでしたけれども、せめて上限設定は私するべきではないかなと思うんですが、そこら辺はどのようにお考えか、一点伺います。

星委員長 しばらくの間、休憩します。

休 憩 (14 : 09)

再 開 (14 : 09)

星委員長 休憩を解き、会議を再開します。

酒井企画政策課長 経費につきましては、今のところ概算費用で基本計画に載せてあります。47億2,000万円ということであります。これはあくまでも他市事例で計算したものでありますので、これを基準にこれ以上ふえないように等含めてなるべく安くあがるようには当然考えていくものと思っています。上限につきましては、これからの用地の関係、場所によりどのくらいの用地を必要とするか。また、皆さんから提案のありました駐車場を2階建てにする等いろんな話があります。それらを含めて、これから設計者を決め考えていく中で最低限の経費でできるようにしていこうと考えています。

大平(恭)委員 それでは説明会でも出ましたけれども、いくらかかろうがわからないという不安が市民の中にもあるし、私たちもどのくらいかかるのかわからないわけですよ、今。でも、その説明ですと上限はないという判断をせざるを得ないですけど、そうすると例えばいろんなスペース設ける、それから複合施設を設ける、あるいは説明会でも出ましたけれども消雪のことについても、ある程度の枠を決めた中でその一線を越えないというのが、私やっぱり必要だと思うんですよ。それが将来負担につながってくると思うんですね。そこら辺は私申し訳ないんですけども、1年かけて議論して構想から計画まで立ててるわけですよ。47.2億円という概算も随分前から出ました。そこら辺の枠というのは、将来負担も考えたらせいぜいこれぐらいですというくらいの説明は最低限するべきと考えるんですけども、そこら辺今具体的におっしゃられなかったんで、ぜひこれからその枠を決めてこれは超えないということをしつかり議論して、議会とでもいいですけども、やっぱりやらないと無制限に事業費が膨らむというのは、どの公共事業を見ても、歯止めがきかなくなるというのは、私経験しているのですからそこら辺もう一回考えていただきたいんです。そこら辺はどうですか。

大平市長 議員のおっしゃる将来負担の問題もきちんと考慮しながら、今後の事業費というのは決めていかなければならないと、私も考えています。ただ、今の段階では基本計画というところであって、今後、基本設計に入りますが、市民の意見を聞いていろいろつくりあげていきたいと言っている中で、先ほども申しあげましたけれど、駐車場一つとっても、どういう駐車場にするかで全然違ってくるわけですから、そこを今の段階で上限を決めろと言われてもできません。これからそれを進めていくことだと。47億円という話については、近隣で行われた庁舎建設の事例、前例を見て単価設定して出した数字であって、今後その数字も具体化されるものということでもあります。

大平(恭)委員 今回の説明会の報告書いただきましたけれども、この扱いについては議会へは示されたわけですけども、今後、市民に対してはどのように扱うのか。どのような形で報告するのか。あるいは報告しないのか。ホームページに載せるのか。そこら辺の扱いどうでしょうか。

酒井企画政策課長 今回報告しました概要ですけども、全戸にお知らせするよう考えています。広報誌の折り込み、ホームページへ掲載する段取りで今は進めています。

大平(恭)委員　市民から説明会の中で要求もあったと思うんです。資料を出してくださいということで、ここにも若干文言ありますが、この辺の扱いは今後どのようにされるのか。一緒に出すのか。それとも別な形で再度市民の中に提供するのかその辺はどうでしょうか。

酒井企画政策課長　そこまで考えておりませんでした。ホームページが基本になるかと思っています。それについては今後、検討させていただきます。

大平(恭)委員　せっかく出された意見ですので、ぜひ早期にクイックレスポンスで早期に対応していただきたいと思っています。

関矢委員　ここで休憩動議を提案します。

星委員長　しばらくの間、休憩します。

休　　憩（14：15）

再　　開（14：25）

星委員長　休憩を解き、会議を再開します。ほかに質疑はありませんか。

渡辺委員　先ほど冒頭、市長のほうからは、建設に舵を切ったという説明、報告がございました。ただ、土地をここにするということの説明については、議会のほうで11月の10日に大方の議員がこの場所をとるようなことがあったのでということで提案してきたのではないかというふうに聞かせていただきました。また、高野委員のほうからは、これは位置を決める条例であるので、位置だけの問題であるというような趣旨の発言もありましたけれども、やはり位置の条例とはいいいながらも条例を決定するには、そこに至るまでの調査、そしてまた筋道、過程、合意形成、そういったいろいろなものがあって初めて条例を可決できるかどうかという判断材料があるべきだというふうに思います。そういった意味では、まだまだ住民への土地利用の用途変更の説明ですとか、そしてまだ調査を行っておりません。地質調査もまだ行っておりません。そういったことを考えると、じゃ本当にここで位置を決めることが間違いなくできるのかどうかというところの判断材料は、少し薄いように思います。先ほど位置を決めてからそういったことはすべきであるという話でしたが、新発田市のほうは、もう建設に移っていながらまだ位置条例も出ておりません。そしてまた、柏崎市のほうも、合併特例債を使って建設するというで舵を取り、地質調査等の予算も組んでおりますが、まだ位置条例のほうは出ておりません。また、我々がこれまで調査してきた先進事例のところでありまして、大体位置条例が出てくるのは、基本設計の形を選定し、あらかじめのことがわかってから位置条例を出してきているところが多くあるというふうに思っております。そういった意味ではまだまだ、市長とすれば議員のほうから決めていただいた中でやらせていただきたいということではありますが、私としては、議員はやはりその条例を可決するまでの間のいろいろな調査、そしてまた住民の合意形成等が見られない中でこれを可決していくということには、甚だ疑問があるのではないかというふうに思っておりますけれど、そういった意味で、市長はもう提案してきておりますので、あとは議会に委ねられていることになるかと思います。合併特例債を使うにしても、決して位置条例がなければ使えないわけではないという答弁も前回にいただいておりますので、そういったことをあわせて、市長とするとここで決めていただきたいと

頭を下げるお気持ちはわかりますが、議会としてももう少し議論させていただきたいと思うんですけれども、調査させていただきたいと、このように私は思うんですけれども、そのあたりについて、住民のほうも慎重審議で議論をきちんとしていただきたいと、合意形成していただきたいというような要望も出ている中で、そのことについて市長はどう思われますか。

大平市長　冒頭申し上げましたけれども、経緯の中で議会の皆さんとは一定の議論は行い、前回ですか、位置については皆さんの意思も納得いくという、全員の皆さんがそうではありませんが、そういった意見もいただきました。ですから、そういった議会の皆さんとのある程度合意形成があるものとして今回この条例を提案させていただいております。

渡辺委員　そのことについて質疑をしたわけではなく、住民からも十分な議論をしてほしいということがある中で、我々議会の中でももう少ししっかりと十分議論させていただきたいというところの考え方についてはどうかということで質問させていただきました。

星委員長　渡辺委員、市長は提案されておりますので、その答えはおわかりだと思います。

高野委員　甚だ遺憾の感じがいたします。というのは、この間、大平市長も言いましたように三十数回特別委員会、このメンバーでやっております。先ほど言いました研修もしております。議員も個々に位置について賛否を住民から伺っていると思います。その中でいろいろな問題は言われていると思います。そういうことを聞いていないのかと、どういう対応をしたのかと、私は聞いてみたいです。そこで、北部コミュニティ協議会から要望書が出ていると聞いておりますが、これについては賛成の立場ですか、反対の立場ですか。住民の意見を聞け、聞けと言いますが、出ているわけですから、それについて承知をしているか、どういうものなのかを質疑しているんです。

酒井企画政策課長　魚沼市新庁舎建設に関する陳情書をいただいております。簡単に申しますと、陳情事項としましては、建設地については2つ出ておりまして、その1つが北部ふれあい広場並びにその隣接地ということでございます。魚沼市新庁舎の建設を進めていただきますよう陳情いたしますと、要約するとそのようになっております。

佐藤(肇)委員　今回の位置を決める条例の根拠といたしますか、もとになるのは基本計画と、それから候補地の評価選定書ということで、それを資料に当局の内部でいろいろ検証して今提案の位置が一番いいということで出されてきているものというふうに私は考えております。ところで、基本計画、私の手元にある資料はまだ（案）がついているんですが、この案はいつ取れたのでしょうか。

酒井企画政策課長　今現在の計画書については、候補地が載っているところで終わっております。ここに今回お示ししてあります最終候補地を掲載させていただきまして、それを加えて修正させていただきまして、最終的な市の計画という形で考えております。

佐藤(肇)委員　そうすると、私はこれを先に案を取って提案されるべきのが本当だったんじゃないか。これはもう過ぎてしまった話ですので、今は考え方をきちんとお聞きさせていただければいいと思うんですが、これが市のホームページなんかにもこのままで今掲載されております。市民は、こういうのを見ながらいろいろ検討し、意見を言ったらまだかわるのかと、いろいろ持たれる部分もあろうかと思うんですが、今回私はそういうことでこの一文を書き直すことによって案が取れるということであれば、それがこの委員会ではっきり示していただければ、私はそれで結構だと思いますので、そのように再度確認をお願い

いいいたします。

酒井企画政策課長　　これまでの議会との進め方におきましては、やっぱりこちらのほうをまず話をさせていただいてから次に行くと段取りにさせていただきました。今回もそれに従いましてまず皆様方のほうにお示ししました。その後に文言を加えて案を取るという形に進めさせていただきたいと思います。お願いします。

佐藤(敏)委員　　継続審査について動議を出します。動議の理由を申し上げます。庁舎再編整備特別委員会に付託審査されている議案第 94 号、魚沼市庁舎の位置を定める条例の制定については、提案理由にあるように市庁舎の再編により事務所の位置を変更するものがあります。言い換えれば、提案の魚沼市小出島 910 番地の市有地に新たに庁舎を建設し、必要な業務、機能を集約させるものであります。新庁舎建設の是非については、行政事務の一本化による効率化、市民サービスの利便性向上、脆弱である防災強化などを進めるためなど議論を重ね、一定の方向が見えてきましたが、先般 12 月 13 日、市民説明会では、多くの市民の皆様が参加され、多様な質問がありました。私は、参加された大部分の方が建設の意義について、強い不安を感じていると思いました。また、当日の午後からは、新庁舎建設検討市民会議が開催され、約 60 名の方々が参加し、議会あてに話し合いの機会を要請されております。新庁舎は市民のためのものであり、市民の意向を反映されるものでなければなりません。そして、新庁舎建設は、周辺施設を核とし、人や物の流れ、まちづくりの将来展望を描く必要があります。人口が大幅に減っている市で、こうした中で将来の財政予測がまだ示されておられません。したがって、こうした内容や新庁舎建設に伴うメリット、デメリットとしてきちんと市民の皆様を示した上で理解をいただく必要があると思います。そのためには、これまでの調査では不十分であり、継続して審査を進めるよう求めるものであります。

星委員長　　ただいま、継続審査の動議が出されました。しばらくの間、休憩し、自由討議により継続審査の扱い、方法について協議します。

休　　憩（14：38）

休憩中に委員間自由討議及び会派代表者会議

【継続審査の扱いについて主な意見】

- ・将来の財政予測、メリット、デメリット、まちづくりをどうするか。新庁舎建設検討市民会議の要望に応え対話集会し、決定していくことが手順だ。また、会派で市民と語る会を考えている。
- ・平成 37 年までの財政シミュレーションは資料として示されており判断はできる。新庁舎を建てる、位置についても委員会として意思の確認がとれている。議決をし、市民の不安を早目に議決責任、説明責任を負って市民に答えていくべき。議決を引き延ばすのではなく、いい庁舎をつくるという審議にステップアップしていくべき。
- ・地方創生の 4 つの戦略が明確でない。平成 28 年度予算で明確に出すということであった。それを確認してからでも議決は遅くない。
- ・新庁舎の位置を決め、庁舎を中心に魚沼市の一体感の醸成を持たせることが必要。
- ・庁舎をつくることはいいことだと思うが、説明が足りない。2 月になっても大丈夫だと

思う。

- ・ 斎場、井口小学校、消防庁舎等いろいろあった。地質調査してもらいたい。用途変更の住民説明会をしていない。用途変更に住民の合意も必要。基本設計がなければ住民との話し合いが進まないと言うなら、市民検討委員会等をつくりながら基本設計していつてもらっても結構。これらは、位置条例なくてもできること。
- ・ 慎重に調査、議論をしてやるべき。市民の理解が必要。それからでも遅くはない。信頼される行政の仕事でない。ここで決定してしまうのも、市民に負託されてる議会としての仕事ではない。

再 開（15：17）

星委員長 休憩を解き、会議を再開します。ただいま、休憩中に閉会中の継続審査について、その取り扱い及び課題等について、自由討議により意見交換をしましたが、全体の合意が得られませんでしたので会派代表者会議において検討させていただきました。その結果、これから閉会中の継続審査について採決します。なお、継続審査をすることについて賛成者の起立により採決しますが、起立のない者は反対として取り扱うことに異議ありませんか。（異議なし）異議なしと認め、そのように取り扱うことに決定しました。お諮りします。議案第 94 号 魚沼市役所の位置を定める条例の制定については、閉会中の継続審査とすることに賛成の方は起立願います。（賛成者起立）起立多数であります。よって、議案第 94 号は、閉会中の継続審査とすることに決定しました。その他、委員の皆さんから意見、協議事項等はありませんか。なお、岡部委員の先ほどの件については、会派代表者会議で今後、検討させていただくということでもありますので、ご理解いただきたいと思います。

岡部委員 この要望書では執行部がやらないということで、もう一度市民の意見を聞く機会と同時に議会で市民の声を聞く会を開いてほしいということなんですが、議会として1回なり2回なりやるということの確認でよろしいでしょうか。

星委員長 先ほど会派代表者会議で検討していますが、引き続き会派代表者会議で検討していくことに決めさせていただきたいと思います。この委員会が終わりますと、すぐ会派代表者会議が行なわれます。そのようにお願いします。ほかにありませんか。（なし）本件については、以上とします。本日の会議録の調整については、委員長に一任願います。本日の庁舎再編整備特別委員会は、これで閉会します。

閉 会（15：20）